

別紙 2

水道ビジョン実施スケジュール

水道ビジョン策定
(平成16年 月)

短期的な対応
(1～3年以内)

中長期的な対応
(5～10年目途)

水道ビジョン目標年次
(平成25年度)

<p>(1) 水道の運営基盤の強化</p>	<p>新たな概念による広域化の推進及び集中と分散を最適に組み合わせた高効率、低コスト、低環境負荷型の水供給システムへの再構築</p> <p>最適な運営形態の選択及び我が国の水道にふさわしい官民パートナーシップ(PPP)の構築</p> <p>コスト縮減を行いつつ適切な費用負担による施設の整備・更新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的水道整備計画に代わる新たな水道広域化計画の導入 ・(多様な形態での水平統合、垂直統合の促進) ・資産管理も含めた第三者委託(水道ホームドクター)制度の確立・普及 ・先進的な連携事例実施の支援 ・官民等連携による技術者の育成・確保 ・効率的な維持管理、更新等に係る技術開発支援 ・老朽施設更新のための新たな資金メカニズムの確立 ・水道事業体における事業計画の策定プロセス等の公開 ・新たな水道料金の負担公平性原則の確立 ・施設整備の効率性が悪い地域等における施設整備の促進 ・第三者による診断・評価システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な財政計画収支に基づく計画的な老朽施設更新の促進 ・新たな広域化計画等に基づく施設整備及び広域事業の推進 ・多様な連携の促進 ・需要構造の変化等に対応した新たな料金制度への移行促進 ・効率的な維持管理・更新等に係る新技術の活用促進 ・サービス水準向上のための多様な取り組みを促す事業監督への移行 ・需要者のニーズに対応した多様な給水サービスの提供
<p>(2) 安心・快適な給水の確保</p>	<p>原水から給水までの統合的アプローチによる水道水質管理水準の向上</p> <p>未規制施設等小規模な施設の水質管理対策の強化</p> <p>給水管・給水用具の信頼性の向上</p> <p>より高度な水質管理技術の導入の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水質基準のあり方を見直し ・水道水質基準の検討 ・水道水質管理水準の評価指針の検討 ・水安全計画の検討 ・小規模施設等の管理の充実及び支援の推進 ・給水用具の維持管理指針の作成等 ・鉛管対策の充実 ・新技術導入における関係者との連携推進、評価指針の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・水道原水基準の適用による原水水質保全の推進 ・水道水質管理水準の評価指針の適用による快適な水質の確保 ・水安全計画の実施による管理水準の高度化 ・小規模施設等の管理の充実及び支援の推進 ・給水管・給水用具の基準の見直し及び施工面の安全確保施策の充実 ・モデル事業、高度化計画等による新技術導入の促進
<p>(3) 災害対策等の充実</p>	<p>地震対策の充実、確実な対応</p> <p>地域特性を踏まえた渇水対策の推進</p> <p>相互連携、広域化による面的な安全性の確保</p> <p>災害発生時の事後対策の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的バックアップ体制の整備(複数水系、近隣事業体、広域圏間の連絡管整備) ・基幹的水道施設の耐震化の推進 ・水道事業者連絡協議会(仮称)の設置 ・水道施設再編、災害対策に関するコンサルティング機関の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的バックアップ体制の整備(複数水系、近隣事業体、広域圏間の連絡管整備) ・基幹的水道施設の耐震化の推進 ・水道事業者連絡協議会(仮称)、コンサルティング機関による災害対策促進支援
<p>(4) 環境・エネルギー対策の強化</p>	<p>水道経営への経済性と環境保全のwin-winアプローチの導入</p> <p>水利用を通じた環境保全への積極的な貢献</p> <p>健全な水循環系の構築に向けた連携強化・水道施設の再構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対策ガイドラインの策定 ・全国ベースで水道独自の環境目標値設定 ・環境保全に貢献する水道水利用技術の開発 ・費用効果的な取排水系の再編対策の実施 ・健全な水循環系確立に向けた関係者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な水循環計画を策定及び整備目標の設定 ・流域内の関係機関や住民との連携による水利用システムの見直し ・再生エネルギーや省エネルギー対策などに関連した新技術の普及
<p>(5) 国際協力等を通じた水道分野の国際貢献</p>	<p>水道分野の国際貢献の推進</p> <p>国際調和の推進等我が国水道の国際化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力の総合化に向けた官民参加の下での情報共有システムの確立 ・官民の海外活動実績の蓄積と国際化に向けた基盤整備 ・国際協力人材バンク(仮称)の設置 ・国際協力に従事する技術者養成研修の実施 ・国際的な活動への参加と政策提案、国際動向の国内政策へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携の下での国際的事業展開 ・水分野の国際的な目標達成に向けた貢献

政策目標／施策目標の達成

レビュー・見直し

レビュー・見直し

レビュー・見直し